





平成29年度 長岡高校スーパーサイエンスハイスクール

名 称	理数科サイエンスコース課題研究発表会		
日 時	平成29年4月15日(土) 12時45分~17時20分		
会 場	長岡技術科学大学		
対 象	県内SSH指定校生徒・教員、大学教員、保護者、中学生、本校理数科1、2、3年生		
目 的	科学及び数学に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技能の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。		
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・本校理数科3年サイエンスコース生徒(全14グループ)が行ってきた課題研究の内容と成果、今後の展望を発表する(口頭発表およびポスター発表)。 ・3年生は大学教員やSSH指定校生徒などと質疑応答や意見交換を行い、研究を多面的に見直し、さらに深化させる。1、2年生は研究発表を聞き、質問することで、自分達の研究課題を発見する機会を得る。 		
			
	口頭発表の様子	口頭発表の様子	
			
	ポスター発表の様子	ポスター発表の様子	

アンケート
ト評価

1 一般、保護者向け

生徒の科学的な資質や能力を養うために、このような取り組みは有効であると思いますか。

選択肢	人数	割合(%)
① まったく有効ではないと思う	3	5
② どちらかといえば有効ではないと思う	0	0
③ どちらかといえば有効であると思う	10	17
④ とても有効であると思う	47	78

2 発表生徒向け

このような取り組みによって自分にどのような力がついたと思いますか。

	選択肢(複数回答)	人数	割合(%)
1	物事に対する好奇心を持つ力	8	19
2	自ら意欲的にものごとを考える力	12	28
3	課題を見つける力	10	23
4	物事を探究する力	9	21
5	問題を解決する力	11	26
6	論理的に思考する力	19	44
7	物事を観察・洞察する力	12	28
8	創造性や独創性	3	7
9	特定の領域における知識力と常識力	8	19
10	知識や常識を応用する力	8	19
11	パソコン等情報機器を活用する能力	19	44
12	チームワークを活用する力	9	21
13	リーダーシップを発揮する力	2	5
14	目的に応じたコミュニケーションができる力	2	5
15	プレゼンテーション能力・表現力	18	42
16	レポート作成能力	7	16

感想など

<一般、保護者、中学生>

- 研究しやすいテーマではなく、解決したいと着眼したテーマで研究されていて素晴らしい。
- 様々な分野で熱心に研究されてきた様子が分かり、感動した。
- 結論づけなくても研究途中の発表（失敗、難しい点）も意味がある。
- 数年後の高校生活に生かしていきたい。

<発表生徒>

- みんなで協力することの大切さや楽しさ、そして論理的な考え方など学ぶことが多かったです。
- 実験することももちろん大変でしたが、何よりもその結果をまとめて発表することはもっと大変でした。
- 今後の研究活動についてのアドバイスもいただけたので、うまく続けていきたい。
- 今回の研究に自信をもって、学んだことを大学でも生かして新たな研究をしたいと思う。
- 分かりやすいプレゼンはどうしたらよいのか、考えていきたい。